

令和5年度 授業改善推進プラン 社会科

1 「大田区学習効果測定」結果の分析

- 学年によって、目標値を上回る領域が異なる。
- ・ 4年生は、「くらしの移り変わり」「安全なくらし」「町の移り変わり」の問題が目標値に達していない。
- ・ 5年生は「都道府県の様子」「先人の働き」「特色ある地域の様子を資料から読み取ったり、考えたりする」の問題が目標値に達していない。
- ・ 6年生は、「日本の水産業」「日本の国土と人々のくらし」の問題が目標値に達していない。

2 課題点

- ・ 昔と今の道具や安全なくらしについての理解に課題がある。
- ・ 資料やグラフに着目して、読み取りや関連性についての考察に課題がある。
- ・ 日本の国土と人々のくらしについての知識・理解や、資料から読み取ることに課題がある。

3 授業改善策

- ① 地図帳を活用した学習活動の設定
3年生で地図、八方位、等高線を覚えさせる。4年生で都道府県および県庁所在地を覚え、5年生で世界各国の位置や大陸の名称、工業地域の位置や名称を覚えさせる。6年生では、歴史的事象の位置を地図上で必ず確認させる。どの学年でも、日常的に地図帳やグーグルマップで調べることを習慣化させる。また、本校の社会科検定に向けての反復学習を意図的に行う。
- ② 資料を読み取る力を身に付け、考察する力を高める学習活動の工夫
グラフや表などの資料を活用して調べる活動をできるだけ多く取り入れる。資料の読み取りが正しくできるよう、資料の見方や捉え方を一斉指導等で丁寧に指導する。複数の資料を関連させて読み取り、考えたことを表現させる活動をたくさん取り入れる。資料はできるだけ教室内に掲示し、社会科資料に慣れ親しめるようにする。
- ③ 観察・見学活動や資料による調べから得た知識を構造的に整理する学習活動の工夫
毎時間および単元ごとに調べて分かったことについてキーワードを用いて端的に表現させる。社会的事象とその意味を結び付け、図式化させる等、関係を視覚的に理解させるようにする。